全70巻

系統看護学講座

半世紀にわたる歴史に裏づけられた、最も定評のある看護学テキスト！

専門分野　専門基礎分野　基礎分野　別巻



2027

2027年版改訂予定タイトル（13巻）

改訂

●専門分野

基礎看護学［2］基礎看護技術Ⅰ
地域・在宅看護論［2］地域・在宅看護の実践

●専門基礎分野

人体の構造と機能［2］生化学
疾病のなりたちと回復の促進［1］病理学
健康支援と社会保障制度［3］社会保障・社会福祉
健康支援と社会保障制度［4］看護関係法令

●基礎分野

心理学
文化人類学

●別巻

臨床外科看護総論
臨床外科看護各論
緩和ケア
臨床放射線医学
精神保健福祉

医学書院

CONTENTS

『系統看護学講座』の構成……7
『系統看護学講座』を活用した指導例のご紹介……8

専門分野

基礎看護学［1］ 看護学概論 2026年改訂……12
基礎看護学［2］ 基礎看護技術Ⅰ 2027年改訂……14
基礎看護学［3］ 基礎看護技術Ⅱ……16
基礎看護学［4］ 臨床看護総論 2026年改訂……18
地域・在宅看護論［1］ 地域・在宅看護の基盤 2026年改訂……20
地域・在宅看護論［2］ 地域・在宅看護の実践 2027年改訂……22
成人看護学［1］ 成人看護学総論……24
成人看護学［2］ 呼吸器……26
成人看護学［3］ 循環器……28
成人看護学［4］ 血液・造血器……30
成人看護学［5］ 消化器……32
成人看護学［6］ 内分泌・代謝……34
成人看護学［7］ 脳・神経……36
成人看護学［8］ 腎・泌尿器……38
成人看護学［9］ 女性生殖器……40
成人看護学［10］ 運動器……42
成人看護学［11］ アレルギー　膠原病　感染症……44
成人看護学［12］ 皮膚……46
成人看護学［13］ 眼……48
成人看護学［14］ 耳鼻咽喉……50
成人看護学［15］ 歯・口腔……52
老年看護学……54
老年看護 病態・疾患論……56
小児看護学［1］ 小児看護学概論　小児臨床看護総論……58
小児看護学［2］ 小児臨床看護各論……60
母性看護学［1］ 母性看護学概論 2026年改訂……62
母性看護学［2］ 母性看護学各論 2026年改訂……64
精神看護学［1］ 精神看護の基礎……66
精神看護学［2］ 精神看護の展開……68
看護の統合と実践［1］ 看護管理……70
看護の統合と実践［2］ 医療安全……72
看護の統合と実践［3］ 災害看護学・国際看護学……74

専門基礎分野

人体の構造と機能［1］ 解剖生理学 2026年改訂……76
人体の構造と機能［2］ 生化学 2027年改訂……78
人体の構造と機能［3］ 栄養学……80
疾病のなりたちと回復の促進［1］ 病理学 2027年改訂……82
疾病のなりたちと回復の促進［2］ 病態生理学……84
疾病のなりたちと回復の促進［3］ 薬理学 2026年改訂……86
疾病のなりたちと回復の促進［4］ 微生物学……88
健康支援と社会保障制度［1］ 医療概論 2026年改訂……90
健康支援と社会保障制度［2］ 公衆衛生……92
健康支援と社会保障制度［3］ 社会保障・社会福祉 2027年改訂……94
健康支援と社会保障制度［4］ 看護関係法令 2027年改訂……96

基礎分野

物理学……98
化学 2026年改訂……100
生物学 2026年改訂……102
統計学……104
社会学……106
心理学 2027年改訂……108
教育学……110
文化人類学 2027年改訂……112
人間関係論 2026年改訂……114

別巻

臨床外科看護総論 2027年改訂……116
臨床外科看護各論 2027年改訂……118
救急看護学……120
がん看護学……122
クリティカルケア看護学……124
リハビリテーション看護……126
緩和ケア 2027年改訂……128
家族看護学……130
栄養食事療法……132
臨床検査……134
臨床放射線医学 2027年改訂……136
臨床薬理学……138
看護史……140
総合医療論……142
看護倫理……144
看護研究……146
看護情報学 2026年改訂……148
精神保健福祉 2027年改訂……150

2027年版

『系統看護学講座』の構成
全 70 巻

常に時代とともに歩み、看護教育の変化に迅速に対応
毎年、全巻にわたって内容を点検し、正確かつ最新の情報に更新
2027 年版では 13 巻を改訂します

半世紀以上にわたり改訂を続ける体系的「教科書」

『系統看護学講座』(系看)は、看護教育への貢献を目ざして、1968 年に「系統別」で体系化した教科書として創刊しました。以来 50 年以上もの間、必要な教育内容・教科を組み込みながら、より充実したシリーズの教科書として改善を重ねてまいりました。そして今日、看護学における教科書の"定本"として、全国の多くの看護学校・看護系大学で採用されています。

カリキュラムへの迅速な対応

2009 年のカリキュラム改正を受け、『災害看護学・国際看護学』ならびに『病態生理学』を刊行しました。また、臨床で複雑化する倫理的課題を理解するために、2014 年版として『看護倫理』を刊行しました。さらに看護の役割の拡大に伴い、2016 年版として『看護研究』を、2017 年版として『臨床薬理学』を、2018 年版では大幅にリニューアルした『家族看護学』を発刊しました。2021 年版では複雑化する医療を概括できる『医療概論』を発刊しています。さらに、2022 年版では本格化する新カリキュラムに対応し、これまでの『〈統合分野〉在宅看護論』を『〈専門分野〉地域・在宅看護論 [1] 地域・在宅看護の基盤』と『〈専門分野〉地域・在宅看護論 [2] 地域・在宅看護の実践』の 2 分冊に発展させ、地域で生活する人々・家族の理解と、さまざまな場での看護を学べるものとしています。既刊の各巻についても、引き続きカリキュラムの趣旨に沿って内容の吟味を欠かさず行い、定期的な改訂を行っています。

時代への的確な適応

少子高齢化をはじめとする社会や制度の急激な変化によって、看護に課される役割の拡大と多様化は顕著となっています。教科書には、そのときどきの時代的課題や教育的理念を的確にくみ取り、それを紙面に反映させる機能が求められます。本講座では定期的な改訂を行うことによって、こうした時代の求める課題に対応しています。また、見てわかりやすい教科書作りにも努め、多くの巻において紙面をカラー化し、動画教材を用意しています。

「系統別」をとる理由

本講座は創刊以来、体系の基軸を「系統別」に置いて編纂してまいりました。時代の変化にかかわらず、基本的に疾患・障害をかかえる人が対象となる医療や看護では、「系統別」が実際的であり、学問・教育のうえで無理がなく、また現行の医療のしくみ・制度、診療・看護の実践にも適合するものと考えています。あわせて、別巻を設けることにより、教育・医療環境の変化に伴うカリキュラム構成の変化にも、柔軟に対応しています。

「看護師国家試験出題基準」への対応

看護師国家試験に合格することは、看護教育の重要な目標と言えます。2022(令和 4)年 3 月に発表された「看護師国家試験出題基準(令和 5 年版)」に沿って、国家試験を念頭に置き本講座の点検を行いました。別途に作成しました『看護師国家試験出題基準 クイックリファレンス』からも、「出題基準」に示される出題範囲を本講座が網羅していることがおわかりいただけることと思います。

系統看護学講座 2026 年版
看護師国家試験出題基準
クイックリファレンス
「系統看護学講座」との対照
(2026 年版)

「クイックリファレンス」に関しましては、医学書院 SP 課にお問い合わせください。
TEL 03-3817-5661

